

# 技術士 2 次試験に合格して



仁義 水緒

(じんぎ みお)

## 勤務先

清水建設株式会社

北海道支店 土木技術部

〒060-8617 札幌市中央区北 1 条西 2 丁目 1 札幌時計台ビル

TEL 011-214-3536 FAX 011-214-3530

E-mail m\_jingi@shimz.co.jp

■ 専門：建設部門(施工計画、施工設備及び積算)

## 1. 自己紹介

私は、1989 年(平成元年)に北見市で生まれ、大学卒業までの 20 年少々を北見市で過ごしました。

大学卒業後は清水建設株式会社に入社し、北広島市の工業団地の造成工事現場、札幌市の山岳道路トンネル工事現場にて施工管理業務に携わりました。その後、現在の部署である土木技術部に配属となり、仮設構造物の計画・設計を主体として全道各現場への技術支援業務に従事しています。

大学が JABEE 認定を取得していたことから、大学卒業後に技術士補を取得しました。技術士 2 次試験は入社後 7 年目(2018 年)より受験を開始し、合計 4 回の挑戦を経て合格することができました。

## 2. 筆記試験について

筆記試験においては、自分の中の 2 つの変化が合格のきっかけであったと感じています。

1 つ目は「受験に対する姿勢」です。最初の頃は、技術士が会社の定める取得推奨資格であったことや、受験資格を得た段階から周囲の人々が受験していたことから、自分もただ流れにのって受験していたに過ぎませんでした。しかし、業務経験を積んでいく中で、更なるスキルアップや今後の働き方などについて思案するうちに、技術士を取得することは有益かつ必要なことであると実感するようになりました。また、青年技術士交流委員会の活動において、様々な技術士たちと出会い、活動を共にする中で触発された部分もあったかと思っています。自分にとって、技術士が「(いつかは)取得しなければならない資格」から「(なるべく早く)取得したい資格」に変わっていったことで合格に近づいたのではないかと思います。

2 つ目は「論文の書き方」です。最初の頃は、とにかく原稿用紙を埋めるということに注力していたよ

うに思います。内容の精査もできておらず、書いた論文の何が評価されて点数がつき、何が評価されず点数がつかないのか分からないまま、雲を掴むような気持ちで勉強し、試験を受けていたことを思い出します。しかし、取得意欲の向上とともに会社で開催しているセミナーへ参加したり、合格者の勉強方法や論文について見聞きすることで、評価される論文のポイントや書き方について徐々にコツを掴んでいくことができました。

## 3. 口頭試験について

筆記試験の合格が分かってから、すぐに社内の技術士の方々に想定質問の作成と模擬面接を行っていただきました。最初は質問に対して端的に分かりやすく回答することに苦戦しましたが、使える時間を全て注ぎ込み、繰返し練習を行いました。

口頭試験本番では、予想通りの大緊張に見舞われながらも、問われていることにしっかり回答しようと、これまでの練習を思い返ししながら頭をフル回転させていました。しかし、試験後に振り返ってみると、もっとこんな風に回答すればよかった…と思いつくばかりで、合格の手応えはありませんでした。それゆえ、合格発表までの約 3 か月間を不安いっぱいでも過ごすことになりましたが、無事に合格できた今となってはそれすらも良い思い出です。

## 4. 今後の抱負

これまでの受験を振り返ると、自分 1 人で合格に至るには難しかったであろうと思います。ご指導・ご支援いただいた方々には感謝の気持ちでいっぱいです。この場をお借りして御礼申し上げます。

また、合格した時には様々な方から「おめでとう」と言葉をかけていただきました。この時の嬉しい気持ちを忘れずに自己研鑽に励み、日々技術者としてステップアップし続けていきたいと思っています。